かわばた荘の日常

グループホームかわばた荘では、認知症や介護が必要になっても、
自分でできることは自分でやるということを大切にして共同生活をしています。

買い物

「20人分ならこんだけでいいか。足りんか」
「これは２袋でいいか」などと言いながら食材を選んでかごに入れていきます。
たまに職員が知らない間にお菓子もかごに入っていることもあります。

食事作り

野菜の皮を剥く人、ごぼうや人参のささがきをする人、盛り付けをする人もいます。
それぞれ自分のできる範囲で用意をしていきます。

食事が終わったら下膳をしてテーブルを拭きます。
全体を拭く事ができなくても自分の前を拭いて隣へ台拭きをまわしてきれいにします。

自宅で生活していた時の習慣で洗濯物も自分で干します。干す位置を低くすることで車椅子の方でも自分で干すことができ、腕の運動にもなっています。
たくさんの洗濯物をたたむことは毎日大変ですがみなさんとても早くたたんでしまわれます。

掃除洗濯

最初は自分の部屋だけでしたが食堂や廊下のモップかけをしてくださるようになりました。
とても丁寧なのでいつもピカピカです。